

大乗院だより

「仏教のまごころを、あなたへ」

Vol.12

今年の秋

御縁を頂ける私

昨年と比べ幾分かは過ごしやすい秋の訪れ。汗が止まらなかつたあの猛暑が少し物寂しく感じるのは私だけかも知れませんが。

さて、今年のお盆も無事にお勤めをさせていただけました事、改めてお礼申上げます。私の為に部屋を涼しくして下さつたり、或いはお寺にお越しの際、わざわざ挨拶をして下さつたり、大切な皆様との距離が少し近く感じることが出来ました。また残念ながらお会いできませんでした方もお寺を通じてご縁を頂いている事に手を合わせ、

御縁の不思議さ大切さを感じる毎日を過ごさせて頂いております。

今年は特に、お墓参りや今後のお墓守りについてご質問が多数寄せられました。テレビやラジオでも墓じまいや永代供養について特集が組まれていたそうですね。そこで今回は皆様が不安に感じるお墓の相続について少しお話をさせて頂きます。

墓じまいとは

まず初めに考えるべき事は、最終的な御骨の収め先

和

そして何より大切なのはご家族や御親戚さんとのご理解が大切ですね。御家族だけで決めて、のちに御親戚の方とトラブルになるケースもありますので、お

る「永代供養」が欠かせないわけです。どこかの世代のタイミングで必ず「永代供養」をするわけですから、今の世代で御骨の移動先に永代供養がついているものを選ばれる方が多いのもその現われでしょう。

大乗院の永代供養では多宝塔に御骨を安置し、両彼岸とお盆に必ずお勤めをさせて頂きます。また、永代供養付きのお墓や納骨堂もありますので墓守や御家族からの申し出があればすぐに移動することも出来ます。地域や場所によつて永代供養の仕組みに相違がありますので、ご家族様が今後どうしたいのかを明確にする必要があります。

お話し合いも必ず行いましょう。

中々口に出しづらいテーマかもしれませんのが、生あるものは必ず死に帰します。これは万人が避けられません。とはいって、誰もが聞くたくないもない、考えたくもない事でもあります。ですが皆様には大乗院という菩提寺があります。お経をあげるだけが菩提寺ではりません。少しでも不安を解消したり和らげる、これもまた私達の法務だと思つております。せつかくのお寺とのご縁です。いつでも頼りにして頂けたらと願つております。

国安寺院代 隆道 合掌

